



名古屋YWCA

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

2025 年度活動目標
繋がりあう力を培い、
新たな活動を共に創りだす

2025
6・7
681号

United Nations Commission on the Status of Women

国連女性の地位委員会に参加しました

沖崎あいみ（名古屋YWCA会員）

第69回女性の地位委員会（CSW69）に参加し、発言の機会をいただき、ありがとうございました。

3月9日から15日までニューヨークの国連本部で開催された本会議で、沖縄の女性をはじめとするすべての人々の権利と尊厳について、世界各地の参加者と共に深く対話することができました。異なる文化や言語の壁を越え、互いの声に深く耳を傾け合えた経験は、私にとってかけがえのない学びと気づきをもたらしました。

私が最も果たしたかった役割は、「なかったこと」にされてしまう沖縄の女性の声を国際社会に伝えることでした。多くの人が沖縄の基地問題について初めて耳にする中で、彼女たちの生活を、自分と切り離したのではなく「私たちのこと」として捉えてもらうためには、対話こそが重要であると痛感しました。この期間が終わった後、それぞれ異なる地に戻っても、彼女たちの現状を心に留め、共に描く未来への責任を胸に抱き続ける、そんな時間を私たちは確かに共有できたと信じています。



国連本部の前で（左から2人目が筆者）

また、研修を通じて出会った世界中の仲間たちとの交流も、忘れられません。それぞれが異なる地域で課題を抱えながらも、彼女たちはただ被害を受ける存在（victims）ではなく、社会の不条理に抗い、変革を起こそうとする力強い抵抗と再生の主体（Agents of resistance and recovery）でした。暴力や差別の構造は決して一地域に限定されるものではなく、根底には共通する社会的な抑圧の仕組みがあります。そうした現実に向き合い、声を上げて行動を起こしている人々に触れたことで、私自身も問題の表層のみに着目するのではなく、その背後にある制度的・社会的なメカニズムを問い直す視点の重要性を学びました。

これまで私は、女性の権利や平和について大学や書籍で学び、自分なりに思索を重ねてきたつもりでいました。しかし、CSW69で直に感じた現場の声の力と対話の可能性は、これまでの私の固定観念を超えるものでした。「私ひとりの声に意味があるのだろうか」という迷いは、「私たちの声こそが新たな可能性を切り拓く」という確信に変わりました。

今回の研修で得た経験や学びは、単なる一過性のものではなく、これからの私自身の活動における確かな指針となりました。CSW69で出会った仲間たちの揺らがない希望とともに、これからも粘り強く、未来を切り拓く一歩一歩を踏みしめていきたいと思えます。ご支援ありがとうございました。



日本YWCAユース派遣チームの発表テーマ
脅威のもとで暮らす—在日米軍基地問題を共に考える
UNDER THREAT: LIFE NEAR U.S. MILITARY BASES IN JAPAN

今月の聖句

「わたしは世の終わりまで、
いつもあなたがたと共にいる。」
（マタイによる福音書 28 章 20 節）

ほんのひと部屋 ちっちゃく バザー

最後のバザー（2019年）から6年経ちました。会員の減少と高齢化は相変わらずですが、「今の私たちでできるバザーをやろう」と思い立ち、規模を小さくビッグスペースだけで行いました。

内容は「リサイクル衣料」と「雑貨市」、おいしいね部の「キッシュ BAR + スープ」と「コーヒースタンド」、協賛企業からの寄付で「ハッピーくじ」「スクエアステップ体験会」と盛りだくさんでした。

広報ファンドレイジング委員会としては、どのくらい寄付品が集まるのか、どのくらいのお客さんが来てくださるのか…まったく想像のつかない手探り状態でした。そのため、開催は平日の金曜日（かつてのバザーも金曜日でした）、雑貨の寄付品は会員のみ受けることにしました。

「リサイクル衣料」は通年で扱っているので心配はありませんでしたが、雑貨類も程よく寄付品が集まり、キッシュとスープは12:30には売切れしました。収益は約10万円。働き人は25名でした。以前のバザーの規模から思えば、まあまあではないでしょうか。

普段、出会わない会員同士が力を合わせてひとつのイベントを行い、来場者とふれあう楽しさも体験できました。今回の反省をふまえ、次回開催に備えたいと思います。ご協力ありがとうございました。

3月21日（金）参加 約60名
主催：広報ファンドレイジング委員会



会場の様子



キッシュ4種類とスープ2種類を用意しました

協賛ありがとうございました

野田味噌商店、古川美術館、松坂屋美術館、万年堂、
名都美術館、メナード美術館、ヤマザキマザック美術館
ほか

広報ファンドレイジング委員会

炊き出し練習のための 大鍋カレーの日 4月8日（火）

地震や台風などの災害が起きたとき、近隣で働く方たちが帰宅困難になったら名古屋YWCAへ避難することがあるかもしれません。その時、名古屋YWCAで炊き出しが必要になったら…。その練習と材料のローリングストックのために「大鍋カレーの日」を年に数回行っています。



3回目の今回はカレー50食分を用意して、12時から提供を始めました。開始から近隣にお勤めの方たちが続々と集まり、一時は行列ができるほどで、20分くらいで終了しました。

今回も運営のためのカンパを1杯300円以上お願いしたところ、支出とほぼ同じ金額が集まりました。物価高で米や野菜など材料費が値上がりしていますが、300円以上入れてくださる方も多いので、とりあえず次回も値上げはしない予定です。



2024年度のリサイクル衣料の
売上げは156,220円でした。
名古屋YWCAの活動に使います。
ありがとうございました。

リサイクル衣料部





日米新ガイドラインってなんだ（1998年）
左が中村さん、右は宮内貞子さん



中村紀子さんを偲んで

2025年3月18日逝去（享年84）



三月まだ桜には早い頃、中村紀子さんが天に召されました。お連れ合いの訃報からひと月後のことでした。

紀元二六〇〇年の年

（一九四〇年）に生まれたから「紀子」と名付けられた（本人談）
那須紀子さんは、静岡県から進学した金城学院大学の学生YWCA（当時）で活躍の後、一九六三年に名古屋YWCAに就職されました。翌年、結婚で退職されましたが、社会運動が盛んだった一九七〇年代の幹部委員として、その後の現会館建設の中心として会員活動を推進し、苦難の時をともに乗り越えた会員とは、YWCA仲間として生涯の友情が築かれました。そして会員の熱意に請われ、一九九三年五十三才で復職、一九九五年からは八年間、総幹事として名古屋YWCAを支えてくださいました。

日本語学校長としても、保障人との関係悪化で行き場を失った生徒を自宅に受入れたりと尽力されました。また、従軍慰安婦の問題や三菱訴訟など地域の社会運動に取り組み、活動の終盤まで中心メンバーとして支えられました。

私たちは、YWCAとは、キリスト教基盤とは、平和とは、と様々なことを平らな関係で議論しました。グループ「あさの会」のタイスタディ旅行や女性委員会主催の沖縄ツアーなども一緒にしましたね。

一見まじめそうでも、とてもユーモアがあり、楽しいこと、歌うことが大好き。職員からも英語の講師たちからも「やさしいボス」と慕われたあなたは、確かにYWCAのリーダーでした。感謝。
（加藤佐紀子）



定期総会（1971年）

青少年部会 沖縄平和プロジェクト

自分たちでつくる 沖縄スタディツアー

開催にむけて準備中 / 日程：8月26～28日

2014年度から実施している「沖縄スタディツアー」は、ユースの主体的な学びを促進するという目的から、自分たちでツアーの内容を考え、事前の学習会も行っています。ツアー終了後は自分の目で見て感じたことをもとに報告書を作成し、報告会も開催します。

ユースが参加しやすいように航空券の補助をしているため、ツアー開催のためには資金集めが必要となります。いつもご支援ご協力いただき、本当にありがとうございます。オリジナルグッズの販売も行っており、3月には、メンバーがツアーで撮影した写真で新しいポストカードを作りました。ぜひ手に取っていただけると嬉しいです。※8ページ参照

ツアーでは、様々な方との出会いがあり、現地の方々との交流の中で感じることも多く、有意義な学びへとつながっています。何度参加しても、知らないことがまだまだたくさんあることに気づかされます。

今年も新たなメンバーと学び合いながら、平和とは何かを考え、わたしたちにできることを実践していきたいと思います。

（島田幸子）

最近のスタディツアーから



はえばる
沖縄陸軍病院南風原壕見学（2023年）



とくろ
渡具知の浜（2024年）



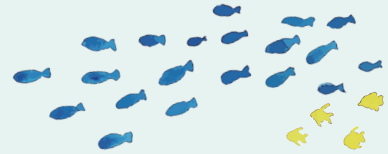
名古屋YWCAのキャラクター「きふっち」のLINEスタンプ販売中！

<http://line.me/S/sticker/1288156> または「Kifuchie」で検索してください。



聖書に聞く 100

鳥しづ子 (日本基督教団うふざと伝道所牧師)



それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。わたしたちは、体の中でほかよりも格好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようと、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとします。見栄えのよい部分にはそうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいっそう引き立たせて、体を組み立てられました。

第一コリント書 12章 22～24節

重い障がいを持つ友人たちと過ごした日々の私の口癖は、「人生は協力だよ」という言葉でした。友人たちは言語障害があり、微妙なニュアンスを伝えられないため、困惑することがありました。ヘルパー自身も弱さを持っていますから、困り果ててしまうことが多くありました。そんな時「あなたの言い分を通せなくてごめんね。あなたの気持ちもわかるけど、譲歩して協力してくれないかな…」という思いで「人生は協力だ！頼むよ！」と言うと、着替えや入浴など、もろもろに協力してくれました。

「協力をお願いします」と「協力するよ」の間には、協力をお願いする謙虚な姿勢と依頼された相手の自主的な譲歩があってこの関係は成り立ちます。私はそういう思いで「人生は協力だよ」と仲間たちに言い続けてきましたが、お互いの関係が果たして対等であったかと思うと、この言葉もまた、相手を屈服させる言葉になっていたのではないかと反省させられます。

飛行機に乗るときに大きなスーツケースはあらかじめ預けて、機内には小さい荷物だけで入るということは常識だと思います。が、時々びっくりするくらい大きなスーツケースで入ってくる人がいます。それでも、飛行機から降りる乗客に、「スムーズなご搭乗にご協力ありがとうございました。これからよろしく…」というアナウンスがあります。「うん、私は協力したぞ」という思いと、そうしていないお客さんにはどう聞こえるのかなあと考えます。

私は辺野古の抗議船の乗員ですが、乗船者が危険なことをすると怒りを含みながら注意してしまいます。そのたびにお客さんに低姿勢なキャビンアテンダントの姿勢を思い出します。謙虚過ぎても協力してもらえないし、相手の自主的な協力を引き出すにはどうしたらいいのか。聖書の「弱く見える部分が必要だ」との言葉に導かれてこれからも考え続けます。

広報ファンドレイジング委員会

女性と子どもの幸せ活動のための BOOKフェス vol.8

2025年

6月 21日 (土)

11:00～15:00

22日 (日)

10:00～13:00

は
お休み



つぎはあなたに読んでほしい

古本市



おいしいスイーツ&ごはん

21
(土)

文学カフェ

11:30～15:00

テーマ

サウンドオブミュージック

(トラップファミリー合唱団物語)

マリアせんせいとピクニック



司法書士事務所 ひらら

司法書士 たいら かずき
平良一器

日進市赤池 2-607 クロムビル 2A
TEL 052-680-8978

登記・相続・遺言・成年後見・借金整理

恵沢法律事務所

離婚、相続、遺言、交通事故、不動産
その他 法律問題全般

弁護士 内河 恵一
弁護士 雑賀 正浩
弁護士 近藤 雅樹
弁護士 原 富祐美



〒460-0002
名古屋市中区丸の内 1 丁目
4 番 29 号 愛協ビル 3 階
TEL 052-221-1150
FAX 052-221-8635

教会に おじゃまして～す②



「子どもたちが神様を知って、健全に育って欲しい」という願いから幼稚園が始まったそうです。現在は、父母会が運営する「学童はこぶね」も行っていて、取材の日も子どもたちの元気な声が響き渡っていました。

一九八三年に二人で始めた、障がいを持つ方々の作業所「さくらん会」は、



第8回日本YWCA全国総会・名古屋教会にて(1939年)

医療法人財団 愛泉会

理事長 井手 宏

愛知国際病院 院長 太田信吉

診療科：外科・消化器科 内科 整形外科
皮膚科 胃腸科 リハビリテーション
循環器科 リウマチ科
肛門科 神経内科

老人保健施設 愛泉館

施設長 井手 宏

〒470-0111 愛知県日進市米野木南山 987-31

愛知国際病院 0561-73-7721

ホスピス 0561-73-3191

訪問看護ステーション えまい 0561-73-8154

老人保健施設 愛泉館 0561-74-1711

有料老人ホーム カナン 0561-74-8260

日進市東部地域包括支援センター 0561-74-1300

指定居宅介護支援事業所愛泉館 0561-74-1341

日本基督教団 名古屋教会

名古屋市中区丸の内 3-4-5



「名古屋教会はいつも社会に目を向けてきた」と話す牧師の田口博之さん

愛知県庁や名古屋市役所に近い大津橋に「日本基督教団名古屋教会」があります。一八七八年に緑区で伝道を開始し、一八八四年に創立。今年で百四十一年目を迎えます。一九三六年に建設された二代目の会堂では、日本YWCAの全国総会を行っています。

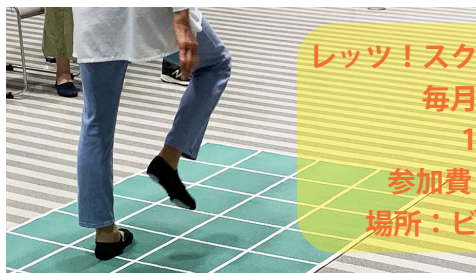
一九八七年に社会福祉法人となり、グループホームやカフェ、ギャラリーと広がりました。田口博之牧師は名古屋出身で、他の都市におられたこともありましたが、名古屋に戻って三十年たそうです。二〇一六年に名古屋教会の牧師に着任。その直後に幼稚園の南側に高層マンションが建つという日照権問題が起これ、裁判(名古屋教会幼稚園おひさま裁判)に発展しました。コロナ禍もあって裁判の進行が遅れ、二〇二二年の三月に判決が出ました。マンションは建ってしまいましたが、裁判所はマンション業者に対して、名古屋教会幼稚園側に一定額の賠償金を支払うように命じました。子どもたちに「適切な保育環境を享受する利益」があるとした、画期的な判決は、その後の日照権裁判に影響を与える意義深いものとなりました。

楽しく脳トレ!

スクエアステップを始めませんか

40マスのマットを使って、前後左右にステップするだけの、誰にでもできる簡単エクササイズです。

スポーツ医学や健康体力学などの国立大学の教員が連携して開発しました。シニア世代の転倒防止、介護予防、認知機能向上、そして体力づくりにおすすめです。



レッツ! スクエアステップ

毎月 第2金曜日

11:30 ~ 12:30

参加費: 1回 600円

場所: ビッグスペース

主催: 広報ファンドレイジング委員会

私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン 6月 パープルサポート

詳細はロビーの掲示板、ホームページをご覧ください



Women's Counseling Nagoya YWCA
**ウイメンズカウンセリング
 名古屋YWCA**



私はDV被害女性のためのCRグループでファシリテーターをしています。

CRとは Consciousness Raising の略で、「コンシャスネス（意識）」を、「レイズ（立ち上げる）」という意味です。一九六〇年代後半に米国の第二波フェミニズム運動の中から生まれました。フェミニズムとはこの社会の中で女性として生きていくことの生きにくさ、息苦しさ、不自由さは何なのか、自分とはなにものであり、どう生きたいのかという真摯な問いに端を発しています。自分の生き方を決定しようとするときに必要な力や権利を女性自身が持つとする運動がフェミニズム運動です。

ファシリテーターはグループでの話の進行に配慮して話を進める、話の交通整理役です。話をつなげ、話を深めていくという役割を持っています。性差別について考えるためにはフェミニズムの視点も必要です。フェミニズムについて基礎知識を持ち、その視点に基づいて話を促進しながら、他のメンバーとの対等性を保っていくのがファシリテーターの役割です。知識を伝えるがそれを押しつけないこと、時間を守り、テーマに沿った話であり、「私」を主語に話すことに留意しながら自分も適切なタイミングで話せることなどの条件を満たすことが必要です。ここまでの開催を振り返り、合格点には程遠い半熟ファシリであることを自覚しつつ、女性の生きづらさに向き合いながら絡まりあった困難という糸の塊を、一本ずつほぐしていく場面に立ち会える支援者を志したいと思っています。

※参考図書：「CRでエンパワメント」

日本フェミニストカウンセリング研究連絡会

(吉田益美)

語学・教育部



名古屋YWCA高等学院国際コース
(サポート校)

新学期が始まりました

名古屋YWCA高等学院国際コース（NYAIC）を開校して2年目。新たに国籍も年齢も様々な生徒20人が入学しました。最初は緊張の面持ちでしたが、最近では笑顔でクラスメートと話す姿も見られるようになってきました。体育のスクーリングは1年生2年生合同でフットサル（室内サッカー）を行い、学年の垣根を越えて生徒同士の交流もできました。

昨年、8名の生徒でスタートしたNYAICは、一挙に大所帯となり、外国ルーツの生徒が安心して学べる場が求められていることを実感します。しかし、サポート校は国の就学支援対象外のため、生徒には授業料が大きな負担となります。中には入学を希望していても、学費の金額を聞いて学びを諦める生徒もいます。どうぞ引き続き、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いします。

あなたの美容室

ヘア&メイクアトリエ
ポアソン レヴール

栄4丁目

ライオンズマンション久屋公園216

TEL (052) 261-1410

《ご予約をお願いします》



2025 年度英会話受講生募集中

パンフレット請求、お問い合わせは下記まで。

052-961-7707 <http://www.nagoyaywca.org>

入学式



体育の授業（名古屋市青少年交流プラザ／緑区）

「特別学習支援金」寄付のお願い

経済的な理由で勉強を諦めてほしくないとの思いから、支援金を給付しています。この支援金は全て寄付からなるものです。継続的に生徒に給付できるよう、ご支援をお願いします。

寄付の方法は8ページをご覧ください。

クレジットカード決済はこちらから



日本語学校

日本語学校奨学金にご協力いただき、ありがとうございます。
2025年度春学期の奨学生が決まりましたので、ご紹介します。
(原文のまま)



J2 ハスナ (シリア)
大学院生として入学するため、YWCAでまなびつづけることに決めました。日本でもっとよいせいかつにつながるようにしたいです。この奨学金のおかげで、勉強にしゅうちゅうできて、日本語のうりよくしけんチャレンジができます。



J3 ローザン (ネパール)
この奨学金を使って、日本語の力を高めたいと思っています。しょう来は大学院に入りたいです。だから、今から一生けん命勉強して、もっと力を身につけたいです。この奨学金にかんしゃしながら、これからもがんばります。



J3 エマ (アメリカ)
生涯、日本語を勉強するのは1番の目標です。それで、奨学金のおかげで、その目標を目指し続けられます。日本人といい関係を作れるようになりたいので、頑張ります。



J2' ソウ (フィリピン)
私は奨学金を生活費や学費などに使います。将来、日本で就職するため、人間関係や日本語の能力をアップしていきたいと思えます。これからもっと頑張ります。



J3 ニルマル (ネパール)
おかげさまで奨学金をいただけることになりました。このお金は勉強のために使ったり、必要な本を買ったりします。この学校で勉強して、いろいろな事を習っていますので、またもっと習っていききたいと思えます。ありがとうございます。

日本語教師養成講座

第三国定住難民への日本語支援

難民事業本部(RHQ)からの委託で、第三国定住難民第10陣への日本語支援を2020年から2025年2月までの5年間行いましたが、それに重なって、第15陣への日本語支援が2024年の11月からスタートしました。5年後に定住者が日本で自立できるよう日本語支援を行っていきます。

今回のクラスは、仕事をしながら日本語を学ぶ状況から、オンラインで実施していますが、数か月に一度対面クラスを設け、学びのフォローアップや更なる関係構築を目指しています。

最初の半年は、職場や生活する中で必要となるコミュニケーション力を伸ばすことに注力しました。講師たちも定住者たちもお互いのことを話したり、聞いたりする場となり、人間関係を築くいい機会にもなりました。

クラスの時間には、授業に関する質問の他に、仕事

に言いたかった表現や分からなかった言葉を質問するなど、とても意欲的に参加しています。それぞれ日本語のレベル差はありますが、日本語が分からない場合、定住者同士が母語や共通言語でフォローし合う場面も多く、とてもいい雰囲気です。

この4月からは、コミュニケーション力アップを目指すために会話クラスを継続すると同時に、日本での生活がすすむにつれ、キャリアアップ、スキルアップする際の資格取得にも役立ち、日本語を体系的に学べるクラスもスタートしました。定住者が自律的に日本語を学び続けられるようサポートしています。

今後はさらにライフスタイルやライフステージの変化とともにさまざまなニーズが出てくると思いますが、それらを見極めながら、定住者に伴走できるような日本語支援をしていきたいと思えます。(高橋夏代)

私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン

7・8月 グローバルスクール

詳細はロビーの掲示板、ホームページをご覧ください



女性弁護士による **女性のための**
無料 法律相談

毎月第2木曜日 午後2時～5時
場所：名古屋YWCA
*1人1回限り/1時間

要予約 TEL 052-961-7707

*予約後、女性弁護士が担当できなくなった場合はご連絡します

●新入会員 ● 小山夏恵、川津喜帆

●ご協力ありがとうございました (以下、敬称略)

●賛助会費 ● 鶴崎祥子、門田一美、荻須恵子

●一般寄付 ● 平野直子

●指定寄付 ●

●CSW参加補助へ: 長屋頼子

●青少年部会へ: 鶴崎祥子

●グローバルスクールへ: 飯野充子、國枝京子、長橋美保、匿名三名

●スリーブキッチンへ: 磯村美保子、飯野充子 (物品) 小倉文子、早川文男、NO-YA CO.

近藤八津子、匿名四名

＊パールサポートへ: 岩田玲子、神山美奈子、猪村礼子

運営委員会報告

【三月】〈報告〉①二〇二四年度主要事業
②名古屋YWCA高等学院国際コース
評議員報告
〈協議〉①二〇二五年度事業計画承認
②二〇二五年度収支予算承認

【三月】〈報告〉①多文化まつり ②全体集会

【四月】オリエンテーション、運営委員の役割
〈報告〉①日本YWCA ②キリスト教基盤部
会 ③青少年部会 ④グループ ⑤会員状況
〈協議〉①プログラム企画 ②「ガザの恒久的
停戦と、パレスチナの平和を求める」声明賛同
③指導者養成費 ④平和集会実行委員会 ⑤第
三固定住難民十五陣への支援について



松浦弥太郎の「かけがえのない五十人」というエッセイを読んだ。

ある日、久々に友人から入ったライン。すると、それは友人の訃報を知らせるお嬢さんからのものだった。すべて終わってからみなに知らせてほしい。今までのことを感謝するというメッセージ。あまりに突然のことで、にわかには信じられなかった。六か月の闘病だったとのこと。一番元氣だった友人の死は衝撃だった。

もやもやを抱えた私は、たまたま目に留まった山本文緒の「無人島のふたり」を読んだ。すい臓がんで逝った著者の六か月の闘病日記。一晩で読み終えた。何かできることはなかったか。自分だったら、どうしていたら。

これからの人間関係をもう一度考えてみたいと「かけがえのない五十人」を読み返した。周りを五十人に広げていくと、また違うものが見えてくる。丁寧に繋がっていきたいと思う。(日本語講師 川瀬世津子)

パープルサポートへのご支援ありがとうございました



2024年度のパープルサポートへのご寄付は486,220円でした。

DVや性暴力、虐待被害をうけ、経済的に困難な状況の女性14名に、延べ92回のカウンセリングを提供し、心理的回復の一助となることができました。今後ともご支援よろしくお願い致します。

女性のための相談・支援事業部

2階ロビー販売

ひょうたんカフェ

第2金曜
11:30 ~ 13:15
おからドーナツ、
手織り製品など

MO-YA-CO

第2、4火曜
11:00 ~ 13:30

焼き菓子、
シュークリームなど

変更場合があります

沖縄スタディーツアー ポストカード 第2弾

5枚セット 500円

沖縄スタディーツアー参加メンバーが撮影した写真で作ったポストカード第2弾ができました。この中の1枚は、なんと「絵」なんです。2階受付で販売中。

沖縄平和プロジェクト



平和集会 実行委員募集中

「2.11 平和集会」の企画、運営を行う実行委員会のメンバーを募集します。1回目のミーティングは7月8日(火) 19:30から(オンライン)です。詳細は担当(吉澤)まで。

寄付のお願い

名古屋YWCAの活動は、みなさまのご寄付と会員の働きで支えられています。みなさまのあたたかいご支援を心よりお願いいたします。

2階受付窓口

名古屋YWCAビル2階の受付でお手続きください。
物品の寄付も受付けています。
詳細はお問い合わせください。

クレジットカード決済

名古屋YWCAホームページ「寄付のページ」、またはQRコードからおすみください。



郵便振替

郵便局の払込用紙をご利用ください。
振込み手数料はご負担ください。
口座番号: 00820-0-47814
加入者名: 公益財団法人名古屋YWCA
※通信欄に「〇〇へ寄付」と寄付先をご記入ください。
※機関紙などにお名前を公表します。
匿名を希望される方は「匿名」とお書き添えください。

会員になって いっしょに活動 しましょう

YWCAでは、理念である「平和で人権が尊ばれる社会の実現」のため、会員が自主的に運営、活動を実施しています。

詳細はお問い合わせください。



@nagoyaywca



@nagoya_ywca



nagoyaywca

発行所: 公益財団法人名古屋YWCA 〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3
TEL: (代表) 052-961-7707 FAX: 052-961-7719
e-mail: office@nagoya-ywca.or.jp HP: http://www.nagoya-ywca.or.jp

発行責任者 加藤佐紀子 編集責任者 下方タ子
偶数月1日発行
1部50円・定期購読1年900円/送料込み
振替 00820-0-47814